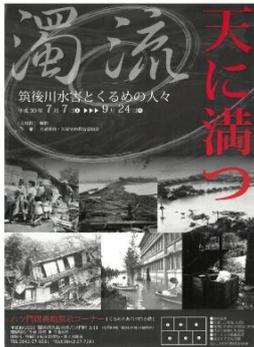


平成30年度

- 4月
 - 4～6月
 - 7～9月
- ・世界人権宣言パネル展／人権啓発センター
 - ・防災展 備える力が未来をもっと強くする／防災対策課
 - ・企画展「濁流天に満つ 筑後川水害とくるめの人々」



平成30年7月7日(土)～9月24日(月)

昭和28年(1953)6月25日、北部九州一帯では梅雨前線の停滞によって激しい雨が降り続いていました。筑紫平野の中央部を流れる筑後川の堤防もついに決壊、未曾有の水害が市内各地を襲いました。濁流は市街地の8割を水没させ、戦後復興に邁進する久留米市民に多大なダメージをもたらしました。筑後川は有史以来、幾度となく氾濫を起こしており、その治水はこの平野に暮らす人々にとって大変重要な課題でした。本展示では享保5年(1720)に発生した大土石流災害から昭和28年の大水害に至るまで代表的な水害の様子を伝える写真や資料、証言パネルを展示します。

- 10～11月
- ・くるめの上下水道展 わたしたちのくらしと上下水道／上下水道部

- 11～3月
- ・むかしのくらし展「学校のたからもの2」



平成30年11月23日(金)～平成31年3月24日(日)

今回は平成27年度に開催した「むかしのくらし展 学校のたからもの」パート2になります。

今も昔も、学校は、子ども時代に多くの時間を過ごす場所として、また地域の拠点として、人々のくらしとともにありました。学校に残されたたからものを通して、学校と地域の歩みを展示します。